

講義名	オ)19～日本語C(書く)/15～日本語C【留学生科目】		
担当教員	福岡 寿美子		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4時限	授業形態	演習
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要 留学生がアカデミック・ライティングについて学ぶ。 留学生が「簡潔に回答する」、「情報を文章にする」、「状況を説明し、意見を述べる」、「段落を作る」、「体験したことを報告する文を書く」、「テーマに沿った意見文を書く」等々を通して、さまざまな場面に応じた表現や文章の書き方を学ぶ。

到達目標 留学生がさまざまな場面に応じた表現や文章の書き方ができるようになることを到達目標とする。 留学生がアカデミック・ライティングを通して、考える学習・課題ができるようになることを到達目標とする。 到達目標については、各課題、中間課題、期末課題等の提出において、その到達度を測る。
--

提出課題 ワークシート、課題等、その都度指示する。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック 各学生が提出した課題について、チェックおよびコメントを行い、全体としての講評・解説等も行い、フィードバックをする。

評価の基準 期末課題(20%)、中間課題(10%)、課題の提出(70%)等による総合評価を行う。
--

履修にあたっての注意・助言他 真面目に動画を視聴し、積極的かつ計画的に課題に取り組むことを希望する。
--

教科書 ・使用しない。				

プリント資料及び参考文献 『大学で学ぶための日本語ライティング 短文からレポート作成まで』。佐々木瑞枝、細井和代、藤尾善代子著 ジャパンタイムズ 『改訂版留学生のための論理的な文章の書き方』二邊信子、佐藤不二子著 スリーエーネットワーク 『ピアで学ぶ大学生・留学生の日本語コミュニケーション プレゼンテーションとライティング』。大島弥生、大場理恵子、岩田夏穂、池田玲子著 ひつじ書房

授業計画 1. イントロダクション：授業の進め方および注意事項、スケジュール、教材、評価方法、自己紹介作文等 2. 簡潔に回答する 3. 課題について考える 4. 情報を文章にする 5. 課題について考える 6. 状況を説明し、意見を述べる 7. 課題について考える 8. 中間期理解度課題の実施およびその解説 9. 段落を作る 10. 課題について考える 11. 体験したことを報告する文を書く 12. 課題について考える 13. テーマに沿った意見文を書く 14. 課題について考える 15. 総復習および期末課題の傾向と対策について、課題提出
--

授業形態(アクティブ・ラーニング)	
ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 各プリントに関して、語句の読みや意味を調べ、内容確認等の予習を、毎回2時間行ってください。 プリントの復習および課題を、毎回2時間行ってください。
--

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 必要な日本語作文能力を身に付け、活用することができる。
--

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考
